

(別紙5)

整理番号 2020P-157
補助事業名 2020年度 授産機器の整備 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 筑紫会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

○背景および補助事業実施前の現状認識

真壁授産学園では平成23年4月より就労継続支援B型事業を開始し、翌24年溶岩窯パン工房 Makapan を開設した。約9年が経過した現在、平均工賃は当時の約2倍強へと引き伸ばすことができた。しかし、ここ数年は横ばいの状況が続いている。

○取り組むべき課題

時代や地域のニーズに則した変革（サービス）が求められている。自主製品の製造・販売（販路開拓）に注力をするのが、ご利用者さまの工賃向上に繋がっていくことを理解しつつも、現設備・機器、勤務体系では新たな仕組みづくりへ着手し難い。また、法令遵守という観点から HACCP の考えを取り入れた衛生管理の実現、そして、ご利用者さまの高齢化も課題に挙げられる。

○実施の意義と期待される効果

①オペレーションの大幅な改編

⇒支援員がよりイキイキと働くことのできる環境づくり

ご利用者さまの更なる可能性を模索する時間の創出

②ご利用者さまが更に専門性の高い作業へ携わる機会の創出

③地域のニーズに則したサービスの提供

⇒製造量UPが見込め、様々な要望に応えること、販路拡大が可能

④危害要因の除去・低減させるための重要な工程管理における根拠となる仕組みづくり

⇒HACCPの考えを取り入れた衛生管理の実現

(別紙5)

(2) 実施内容

授産機器の整備

<https://tsukushikai.jp/news/2020%e5%b9%b4%e7%ab%b6%e8%bc%aa%e5%85%ac%e7%9b%8a%e8%b3%87%e9%87%91%e3%81%ab%e3%82%88%e3%82%8b%e8%a3%9c%e5%8a%a9%e4%ba%8b%e6%a5%ad%e5%ae%8c%e4%ba%86%e5%a0%b1%e5%91%8a/>

自動分割丸目機<DR-ROBOTS Aタイプ>

金属探知機<MS-3147-3012-WP>



ドウコンディショナー<パンステージDP-3222A>



(別紙5)

2 予想される事業実施効果

○現時点での実施効果

- ①HACCP の考えを取り入れた衛生管理実現へ一歩近づいた。
- ②オペレーションの改編に伴い、職員の勤務改善および時間の創出に繋がっている。
- ③これまで以上に、ご利用者さまが製造に携わる機会が増え、また作業の幅が広がり、笑顔が増えた。

○課題と今後の実施効果

申請の時点では、自主製品の『パン』というツールを活用し工賃向上に繋げていくことを考えていたが、現在の社会情勢を鑑み、当施設ご利用者さまの『生命の安全』を最優先に考えた場合、『パン』の販路開拓(外部販売・委託販売・納品)交渉は難しく、パン単体での大幅な収益増は困難な状況となっている。そこで、方向転換を図り、導入させていただいた機器を有効活用し、時間の創出に努め、賞味期限の長い『製菓』のブランディングを推し進める。店売り・手土産用・ギフト用の展開を行っていくことで、大幅な収益増が見込め工賃の向上に繋がっていくと考える。

3 印刷物等

筑紫会報 第59号

<https://tsukushikai.jp/wp-content/uploads/2020/09/no59.pdf>



(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人筑紫会（シャカイフクシホウジンツクシカイ）

住 所： 〒300-4422

茨城県桜川市真壁町亀熊1464-1

代 表 者： 理事長 吉原毅（リジチョウ ヨシワラツヨシ）

担 当 部 署： 事業推進室（ジギョウスイシンシツ）

担 当 者 名： 主任 飯島正美（シュニン イイジママサミ）

電 話 番 号： 0296-55-4007

F A X： 0296-55-4340

E - m a i l： hjet4229@yahoo.co.jp

U R L： <https://tsukushikai.jp/>